

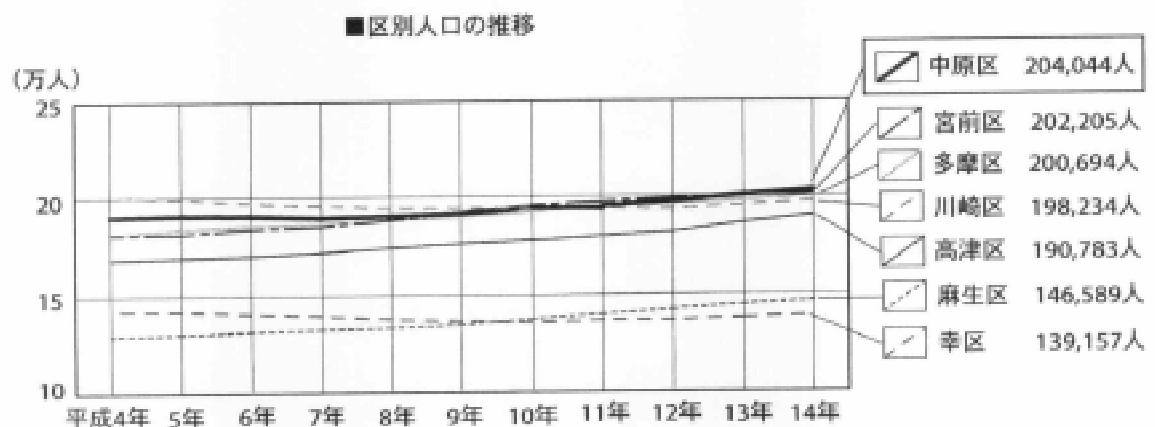
## 第II章. 中原区の現況

---

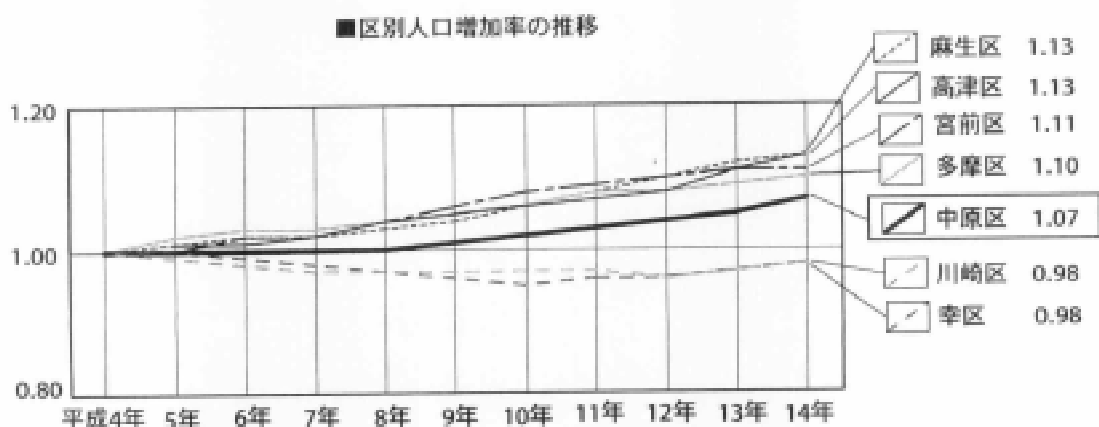
## II-1. 人口

### 1. 人口・世帯の推移

- ・ 中原区の人口は、市内の7区のうち最も多く、20万4,044人となっています（平成14年10月1日現在）。中原区の人口の推移をみると、緩やかな増加傾向であり、平成4年から平成14年にかけての人口増加率は1.07倍と市内の7区のうち5番目の増加率となっています。人口増加の主な要因としては、農地、工場用地の住宅への土地利用転換が進み、東京への交通利便性の向上による30代人口の流入が考えられます。
- ・ 一世帯あたりの人員数は年々減少傾向にあり、平成14年には世帯あたり2.05人で市内の他区に比べて、世帯規模が小さいことが特徴といえます。その主な要因として、先述したように土地利用の転換によるマンションの増加に伴った単身者・夫婦のみの世帯数の増加と、高齢者単身・夫婦世帯数の増加などが考えられます。

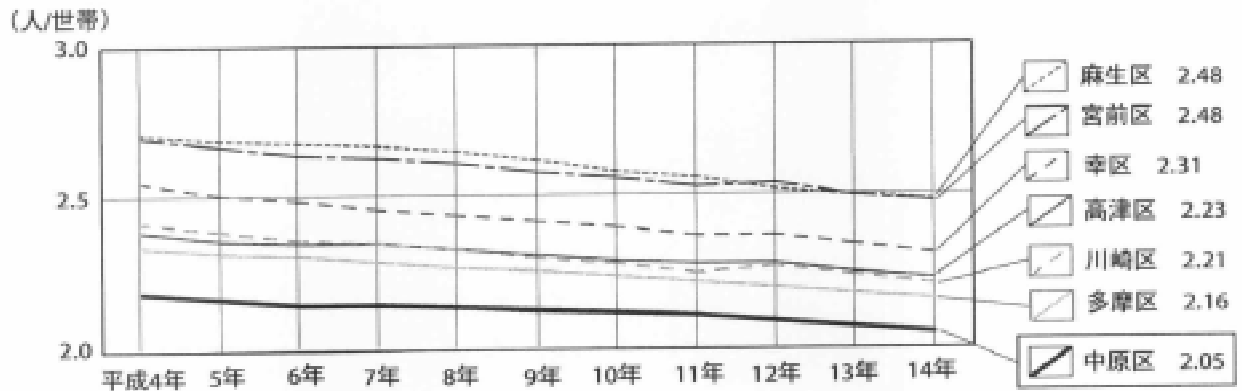


※：各年10月1日現在の区別推計人口（平成7年、平成12年は国勢調査人口）  
資料）総合企画局企画部統計情報課



※：平成4年10月1日現在人口を1.00とした各年10月1日現在の人口増加率  
資料）総合企画局企画部統計情報課

■区別世帯あたり人員の推移

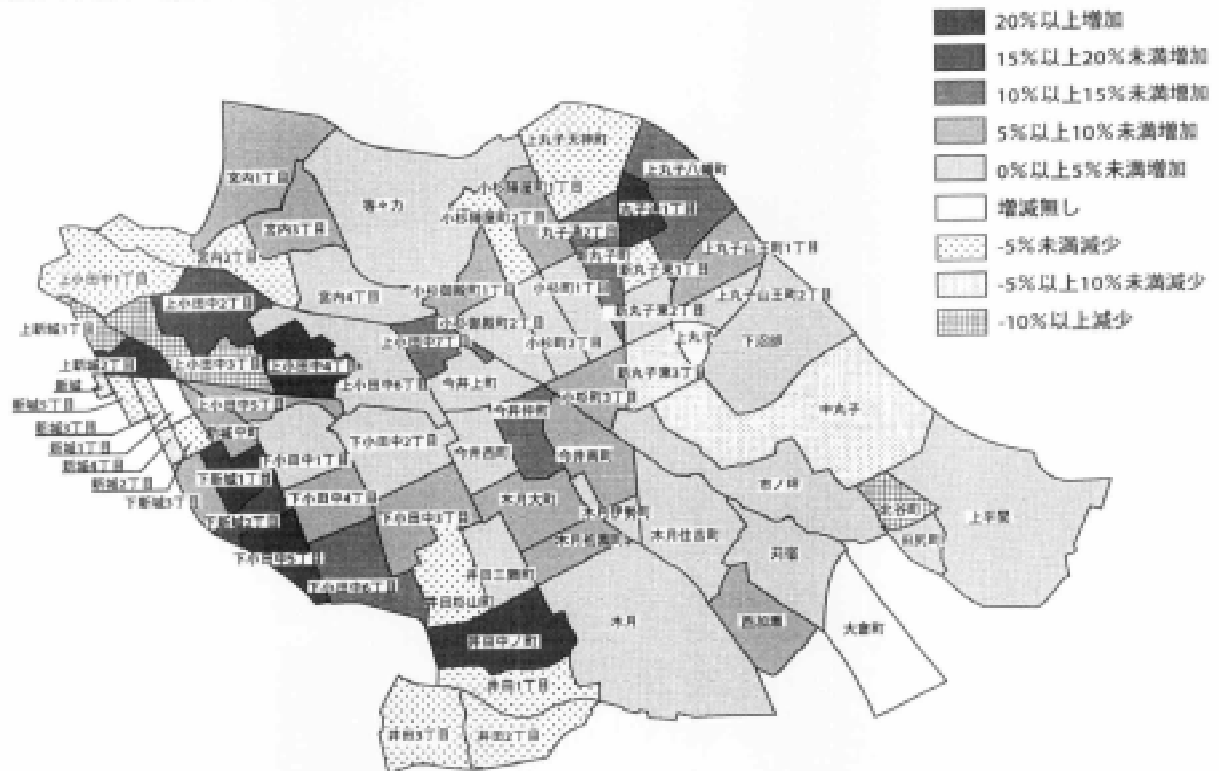


※：各年10月1日現在の人口・世帯数より算出（平成7年、平成12年は国勢調査人口・世帯数）  
資料）総合企画局企画部統計情報課

## 2. 地区別人口増減率

- ・中原区の平成8年から12年にかけての各地域別の人口増減率は以下のようになっています。
- ・小田中や下新城、井田周辺にかけては、農地の転用による住宅の増加、区の南東部にかけては工場の住宅への用途転換が人口増加の主な要因と考えられます。

■中原区各町丁別人口増減率（平成8年～平成12年）



※井田1・2・3丁目、調査時点でひとつの町丁であったため、3町丁をまとめたデータを表した。